

大会名称: 第27回ユニバーシアード競技大会 バasketボール競技(男子)

開催場所: Basket Hall2

試合区分: No. 129 男子 予選ラウンド第3戦 コミッショナー:

期 日: 2013(H25)年7月9日(火)

主審: OVINOV Semen (RUS)

開始時間: 12:30

副審: KENYON Reid Allan (CAN) / RACYS Saulius (LTU)

終了時間: 14:00

日本 (通算1勝2敗)	○ 93	20 -1st- 12 20 -2nd- 9 22 -3rd- 19 31 -4th- 11 -OT1- -OT2- -OT3-	● 51	フィリピン (通算0勝3敗)
----------------	---------	--	---------	-------------------

「第27回ユニバーシアード競技大会」男子は第3日目。男子ユニバーシアード日本代表チームの第3戦の相手は、ここまで同じく2連敗を喫しているフィリピン。立ち上がり、12-0と好スタートを切った日本は、試合を優位に進めていく。一方のフィリピンも#4OCTOBREを中心に応戦するが、ここの場面でファウルが重なり、苦しい時間帯が続く。40-21と日本がリードして迎えた後半、果敢な攻めで相手のファウルを誘うと、フリースローを確実に得点に結びつけ、リードを伸ばす。最終ピリオドには、#9藤高がファストブレイクから連続得点を挙げて、一気に畳み掛ける。最終的に93-51、終始リードし続けた日本は全員出場で圧勝し、今大会初勝利を挙げた。

第1ピリオド、立ち上がり、日本は#7藤井のアシストから#14橋本が先制点を挙げると、続けて#6宇都がフリースロー、#9藤高が豪快なダンクシュートを決め、好スタートを切る。その後も日本の勢いは止まらず、速い展開で着実に得点を重ねる。開始4分、12-0となったところで、フィリピンはたまたまタイムアウト。残り5分を切り、#5MENDOZANのジャンプシュートでようやく初得点を挙げたフィリピンは、#13ABADと#7CODILLAの3Pシュートで盛り返し、徐々に本来のリズムを取り戻す。20-12、日本リードで終了。

第2ピリオド、日本は#15鶯のレイアップシュートで加点するが、その後ミスが続き、4分半で2点のみと我慢の時間帯になる。一方、フィリピンもシュートの精彩さに欠け、思うように点差は縮まらない。この苦しい状況を打破したのは日本。#15鶯のアシストから#13坂東が3Pシュートを射抜くと、#8河上、#9藤高と続き、リードを伸ばす。その後も、トランジションゲームを展開する日本は、#5永吉らが次々とシュートを決める。40-21、日本がリードを広げ前半終了。

第3ピリオド、フィリピンは#4OCTOBREの得点で幸先の良いスタートを切ると、続けて#13ABADがファストブレイクで加点する。一方、日本は立ち上がりこそミスが続くも、#5永吉、#6宇都を中心にオフェンスを展開し、得点を入れ返す。一進一退の攻防が続く中、開始5分で早くもフィリピンのチームファウルが5つ目に達したことを尻目に、日本は果敢な攻めで相手のファウルを誘い、フリースローで加点していく。62-40、日本リードのまま最終ピリオドへ。

第4ピリオド、日本は#9藤高のファストブレイクから連続得点が決まり、開始2分で69-40と一気に畳み掛ける。対するフィリピンはメンバーチェンジとタイムアウトを繰り返し、立て直しを図るものの、日本の執拗なディフェンスに苦しみ、開始5分間無得点。その間、日本は着実に得点を重ね、勝負を決定づける。最終的に93-51、日本は全員出場で圧勝し、今大会初勝利を挙げた。

次戦、1日休息日を挟み、予選ラウンド第4戦、日本は7月11日(木) 18:00(日本時間23:00)よりセルビアと対戦する。